



発行所
 社会福祉 長野県身体障害者
 法人福祉協会
 長野市中御所岡田98-1
 TEL 026 (228) 0317
 E-mail: nagasin@avis.ne.jp
 編集発行人 小林 和夫

県身障協バッチ

新春を迎えて

長野県知事 阿部 守一



新年あけましておめでとうございませう。謹んで新春のお慶びを申し上げます。

県民の皆様には、旧年中、県政の推進に対しまして格別の御支援と御協力を賜り、誠にありがとうございました。

がとうございませう。

昨年、県内では3度の大きな感染の波に見舞われ、医療への負荷増大により1月と8月には「医療非常事態宣言」を発出する事態となりました。この間、救える命を救えない状況を招くことなく、幾度もの危機を何とか乗り越えていくことができましたのは、ひとえに医療関係者の皆様の御尽力と、県民・事業者の皆様への御理解・御協力のおかげであり、心より感謝申し上げます。

新年のあいさつ

理事長 小林 和夫



新年あけましておめでとうございませう。皆様には健やかに新年をお迎えの事とお慶び申し上げます。令和元年から悩まされてきた、新型コロナウイルス感染症の蔓延は、昨年十月下旬頃かから漸く全国的に下火の状況に成ってきました。しかし、この落ち着いたコロナの状況の継続を願うところですが、第八波発生の予防には一人一人が強く心掛ける事が大切です。三密の回避、マスク付けの習慣等、国の進める「新しい生活様式」に沿った、窮屈な自粛の生活も引き続き心掛ける必要がまだあります。新年早々ストレスの高い不便な生活の協力の

今年、県の総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン2.0」が最終年度を迎えます。「確かな暮らし」を取り戻し、中長期的な課題にも挑戦するため、次の点などを重点テーマとして県政運営にあたってまいります。

まずは、新型コロナウイルスから県民の命を守るための取組です。新たな変異株や次なる感染の波に備えるため、感染状況に応じて的確かつ迅速な対策を講じるとともに、ワクチン追加接種のための体制整備、最悪の事態にも備えた医療・検査体制の確保、ワクチン接種等を踏まえた社会経済活動の活性化に全力を尽くしてまいります。

次に、誰一人取り残さない公正な社会づくりです。すべての県民の皆様が明日への希望を持って安心して暮らすことができるよう、コロナ禍で生活に困窮している非正規労働者やひとり親家庭等への支援、障がいがある人もない人も誰もがお互いの違いを認め合う共生社会づくりを進めます。

これらの取組と併せ、切れ目なく県政の推進を図るため、次期総合5か年計画の策定を進めてまいります。結び、今年がコロナ禍を克服する一年となること、そして、皆様方にとってよき一年になりますことを心より祈念し、新年の御挨拶といたします。

お願いで恐縮です。また新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を受けて、特に多くの皆様にご協力を頂いております福祉大会を始め、その他の各種事業が軒並み中止、延期に成ってしまいご迷惑を掛けました。大変申し訳ない事でございますが、ご理解をお願い致します。さて、私達が長年要望を続けて来た、障害者が生活し易い社会環境を実現するための条例制定について、長野県は一昨年度その策定の約束を行っていました。しかし新型コロナウイルス感染症蔓延の影響を受けて、策定作業の遅れのため、今日まだ実現していません。今年こそ、その制定の実現を皆様と共に強く期待するところですが、更に今年が、協会の通常の事業運営が出来る年に成ることを皆様と共に願いたいと思います。結び、新型コロナウイルスの一日も早い終息と、皆様のご健康とご多幸を祈念しまして年頭のあいさつといたします。

長野県身体障害者福祉大会について

令和3年度第72回長野県身体障害者福祉大会については、東信プロックの千曲市にて開催予定でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大により中止となりました。令和4年度の大会につきましては、開催を1年延期して「令和4年度第72回大会」とし、千曲市で開催します。(令和4年9月9日(金) 予定)

令和3年度知事・理事長表彰受賞者名簿

知事表彰

○社会福祉表彰―障がい者福祉分野

長野県表彰規則2条表彰(社会福祉功労)

小林 和夫 (長野市)

長野県表彰規則3条表彰(障がい福祉功労)

加藤 キヨ (伊那市)

滝澤 美智子 (伊那市)

柳澤 富子 (千曲市)

峰 勝 (下伊那郡泰阜村)

理事長表彰

○県協会役員6年以上在籍し顕著な功績のあった者

堀 込 兎夫 (小諸市)

湯本 康幸 (千曲市)

小林 壽夫 (佐久市)

○郡市協会役員8年以上在籍し顕著な功績のあった者

加藤 博 (下伊那郡松川町)

田中 千枝 (小諸市)

重田 正次 (小諸市)

高見澤 千代 (小諸市)

○自立更生顕著にして他の模範である者

堀内 達夫 (長野市)

○重度障害の妻を助けた夫で他の模範である者

金子 今朝雄 (上田市)

健康福祉部長との懇談会

11月22日(月)



正副理事長が、県庁特別会議室において、福田健康福祉部長と懇談し、以下の事項を要望しました。新条例制定に向けて日々奮闘中についての経過報告等のお話をいただきました。

1 実効性のある差別解消のための条例の早期制定を要望する。

〈回答要旨〉 (障がい者支援課)

○ 令和2年度中は、新型コロナウイルスの影響により社会・経済活動に大きな影響が出ている中で、条例制定の明確な時期を示すことが出来ず、団体の皆様方に御心配をおかけした事について改めてお詫びいたします。

○ 令和3年度は、庁内で関係部局との意識共有を図り、県が行う共生社会づくりに向けた取り組みを調整し、今年度内の条例案議会提出に向けて全力で取り組んでまいります。

○ 県では、令和4年度の重点的な取り組みとして「誰一人取り残さない公正な社会づくり」を掲げ、県全体

が一丸となり取り組む予定であります。

また、障害者差別解消法の一部改正により事業者の合理的配慮が義務化となりましたが、県条例においても、「障がいの社会モデル」の考え方を推進するため、法の一部改正と同様に、事業者における合理的配慮の義務化を明記し、社会的障壁の除去に努めてまいります。

2 長野県社会福祉総合センター(仮称)の早期建設を希望する。

〈回答要旨〉 (地域福祉課)

○ 会議室等施設面での制約があり、御不便をおかけしておりますが、日程等の調整をさせていただき利用を願います。

○ 御要望の「社会福祉総合センター(仮称)」につきましては、各団体の活動状況等を踏まえた上で将来のあり方を検討してまいります。

3 身体障害者相談員の活用を希望する。

〈回答要旨〉 (障がい者支援課)

○ 身体障害者相談員の設置に加え、ピア相談員の配置、人材育成研修の実施、あるいは今後どのような形態で相談支援を行っていくかなど、あらためて市町村の状況をお聞きし、県としても一緒に考えていきたいと思っております。

○ また、貴協会にも参画していただいている市町村や障害者総合支援センターなどで構成する県(地域)自立支援協議会の場などにおいても、貴協会の思い、考えをていねいにお聞きし、障がいをお持ちの方が、気軽に相談しやすい環境の整備に努めてまいります。

4 福祉避難所等への直接避難ができるよう要望する。

〈回答要旨〉 (健康福祉政策課)

○ 福祉避難所への直接避難の円滑な実施に当たっては、市町村が策定する避難行動要支援者の「個別避難計画」での位置付け及び対象者、対象施設の明確化が重要と考えております。

○ 福祉避難所に避難する対象者や対象範囲については、地域の実情や施設の状態により様々なケースがあることから、先進事例の共有などを通じて、市町村において「直接避難」や「個別避難計画作成」の検討が円滑に進むよう、支援してまいります。

5 視覚障害者のガイドヘルパー、ホームヘルパーの人員不足、地域格差の解消を要望する。

〈回答要旨〉 (障がい者支援課)

○ 訪問系サービスの令和2年度目標量に対する実績は、全県平均では8割を超えているところですが、市町村や圏域単位では差もみられます。地域の実情を踏まえた市町村障害福祉計画において検討等がなされることは重要であるため、同行援護を含む

む訪問系サービスの提供体制の充実について、障害福祉計画の進捗確認の機会をとらえて、市町村と共有を図ってまいります。

○ 県では、視覚障害者移動支援従事者資質向上研修事業において、国が実施する研修の受講者に対する受講料等の補助を通じて、同行援護研修の指導者を養成しています。

○ また、同行援護従業者養成研修においては、離職者向けの民間活用委託訓練として同行援護従事者を養成している研修機関もあり、広く従業者の養成も図られています。県としては、訪問系事業所に対する集団指導の機会等において、同行援護の必要性と重要性について情報提供することにより新規参入を促すなど、同行援護事業所における人員不足が解消し、地域間格差が解消されるよう、引き続き取り組んでまいります。

6 障害者福祉施策に係る予算の充実確保を要望する。

〈回答要旨〉 (障がい者支援課)

○ 高齢化等による社会保障関係費の増加により、国・県・市町村の財政事情は大変に厳しい状況にあり、今後は不透明さを抱えながら、より厳しさを増すことが見込まれておりますが、障がい者の皆様が地域で安心して暮らしていくことができるよう、国の動向を十分に把握しながら必要な予算の確保に努めるとともに、障がい者福祉施策が後退しないよう市町村とも連携して施策の推進に努めてまいります。

久しぶりの外出

大町市身障協会 丸山美栄子

コロナ禍の中で外出もままならず、もやもやした思いの中での二年間でしたね。

幸いにも昨年九月になってから規制緩和となり、大北地域内ならと、大町市として日帰り研修旅行に行きました。

まず白馬ジャンプ台の見学を済ませ小谷の道の駅では、^{かまど}竈で炊いたご飯の昼食を美味しく頂き、楽しみにしていた温泉入浴で体をリラククスでき、皆さん大満足の様子でした。

帰りは白馬神城のジェラード「農カフエ」でスイーツを食べ、別腹とはよく言ったものだと感じました。



長野オリンピックの白馬ジャンプ台

当日は二三名の参加者が無事故で帰路に着けたことが、何よりでした。今後も皆様と和気あいあいの協会の運営を目指し、体力・気力の続く限り持続していけたらと願っております。ちなみに大町市の宣伝をします。オストメイト対応の多機能トイレが信濃大町駅前・市民浴場わっぱらの湯・商工会議所併設多目的ホール一階トイレの三か所にあります。オストミーの方々も安心して大町市にお出かけください。



小谷道の駅での昼食



大町駅前多機能トイレ

敬老の日に合わせて

伊那市身障協会 青木 英雄

去る、九月二〇日の「敬老の日」に我が町では、約一〇〇名の敬老者の御祝いをしました。

具体的には、町のスタッフが二人一組になり、約一〇名のグループで各対象者を個別訪問しました。内容は、区からの記念品と町からの粗品です。

更に小学生の作成した、メッセージや折り紙等、心のこもった作品もお届けしました。

また、皆さんの近況や、お困り事等の聞き取りをして、交流を図りました。反省会では各グループ毎に報告してもらいました。

一番、印象に残っているのは、我々が訪問すると、相手に非常に喜んでい



ただけた事です。普段は一人である人もいて、こうやって話し相手が居る事は本当にうれしそうです。やっぱり、無人島にいる訳ではないのですね。これからもこういった活動を続けていきたいものです。



第24回長野県障がい者文化芸術祭

第24回長野県障がい者文化芸術祭 in たかもりが9月17日(金)～18日(土)、高森町民体育館で開催されました。

また「ウェブ展示会」も現在開催されています。

どなたでも気軽にPC・スマートフォンでご覧いただけます。

<ホームページアドレス> <https://nagano-bungeisai.jp>

〇知事賞受賞のみなさん

- 絵画の部 栗原 勝之 (立科町)
- 手芸の部 川元 友子 (須坂市)
- 工芸の部 堀内 達夫 (長野市)
- 書道の部 土田 美佐子 (高森町)
- 写真の部 金森 悦三 (高森町)
- 文芸の部 風 朔 ぴこ (坂城町)



【手芸】川元 友子
「心を燃やせ」



【工芸】堀内 達夫
「寒風むら竹」



【写真】金森 悦三
「自然湖朝霧」

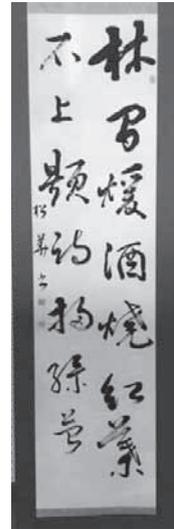


【絵画】栗原 勝之
「空想都市」

自由詩 坂城町 風朔 ぴこ
「明日(あした)」

明日は来るのでしょうか。
今日よりも、少しだけ明るい明日。
ひとつくらいは、楽しいことのある明日。
一瞬でも、生きてよかったと思える明日。
ちよっとだけいいから、
未来に希望を抱ける明日。
ほんの少しだけでも、
誰かと心を通わせられる明日。
たとえ不安からちよっとだけ遠れて、
ホッと安心する一瞬を持てる明日。
そんな明日が来るのでしょうか。
明日になって、今日よりもほんの少しだけ
心が軽くなっていったら、
そしたら、明日も生きていく気がするよ。
その次の明日に、そのまた次の明日に、
近づいていけるかもしれないね。
ずっと、ずっと先の明日に、
夢を抱けるようになったら、
ほんとに明るい明日が来てくれたら、
いつか、いつの日か、きっと。

【文芸】風朔 ぴこ
「明日(あした)」



【書道】土田美佐子「白楽天の詩」

第72回 長野県身体障害者福祉大会 (予定)

開催日：令和4年9月9日(金)
開催場所：千曲市更埴文化会館 (あんずホール)
千曲市杭瀬下 1-64
TEL 026-273-1880

あ と が き

今年こそはコロナ禍を乗り越えた一年でありたいと、決意をして新年を迎えられたことと思います。

令和四年の新春おめでとうございます。

年頭にあたり、会員皆様のご健康とご多幸を心からお祈り申し上げます。

編集委員長 丸山 美栄子

障がいのある方々と共に成長し 社会に貢献していきます

業 務 内 容

- 印刷 広報誌/記念誌/自費出版/文集/チラシ・パンフレット など
- 縫製 被服/のぼり旗/バッグ/帽子/各種防災用品 など
- アクアリウム メンテナンス付き観賞魚水槽のリース



社会福祉法人 **ながのコロニー**
指定就労継続支援(A型) **長野福祉工場**
事業所
〒381-8580 長野市徳間1443 TEL 026-296-1411
<http://nagano-colony.or.jp>

収益事業に ご理解とご協力を

日身連事業所は、各町内会・自治会のご協力を得て、回覧カタログによる収益事業と、皆様の福祉会からの「お茶」販売で県身障協と地元福祉会の財源確保のお手伝いをさせて頂いております。宜しくお願い致します。



日身連収益事業所

東京都渋谷区代々木5-57-6
所長 佐藤 宏
フリーダイヤル 0120-450-450